



風薫る〈村山古道〉を歩く Part1-1

* 100年の眠りから覚めた道”富士曼荼羅”の世界に想いを馳せて *

“村山道”は平安時代末期（約1000年前）修験者の登山道として、東海道から村山浅間神社を経て現在の富士宮口新六合目、“宝永山荘”の東側にある今の登山道と結ばれていました。戦国時代から江戸時代にかけては“先達”と呼ばれた“山伏”たちの導きで、主に関西方面から多くの人達の信仰登山で栄えた富士山最古の登山道でしたが、明治維新後の廃仏毀釈の嵐や1906年の大宮道の開通により廃れてしまいました。

平成3年、富士宮市教育委員会や歴史同好会の有志が、2年に亘る苦心の探索の末、ようやく2003年に甦らせたこの古道を今は地元の人達も加わって整備・保護しています。では、村山浅間神社から富士宮口新六合目までのこの道を私目線とヨタヨタ足で、極々掻い摘んでご案内致しましょうか。

まずは、村山浅間神社の急な石段上の鳥居をくぐるとイチヨウの老木、社殿、御神木の杉と水垢離場、“興法寺”のお堂と護摩壇。神仏混淆の名残りが色濃く漂う境内は古色蒼然としていて何やら神秘的です。



『富士山村山口』の石碑

登山道は、西側舗装道路を横切り恭しく七五三縄を巡らせた『富士山村山口』の石碑から始まる六道坂をしばらく進むと左手に“村山道”の標識があって、また六道坂。並行する舗装道路とぶつかって四辻。登山道の案内図を確認して広いアスファルト道を直進。

右手道脇に野菜の無人スタンドがあって何だか閑か・・・頭の上の無機物的な送電線に目をやり、民家の前を通り過ぎると分岐点。「通せんぼ?」の右の道の鎖をエイッと跨いで行っちゃいます。道の左脇の草むらに隠れんぼの“馬頭観音さん”見つけ！その先が五辻。

周りの雑木が伐採されて見通し良好。“村山道”の標識の所から入る溝っこのような細道は草に埋もれて・・・送電線のT字状巡視路を右折したらすぐ左手を登ります。“富士裾野林道”を突っ切って尚も登れば“北井久保林道”、これも突っ切ったら右奥の草むらに“村山道”とあるから「間違い無し!」です。東進すると、太いケヤキの古木に七五三縄が張られた“札打ち場”跡。{お疲れ様!どうぞご一服を}と椅子があります。

一息入れたら、右からの林道の終点を左折した先で新しい作業道が4・5回交差『天照神社』（標高1000m）を右に見て“天照教林道”を横切ると天照教奥の院の参道に出ます。左に案内図やオリエンテーリングなどの標識を見つつ右の村山道へ入ればホット足に優しい道。ぶつかった“吉沢林道”を越えると静岡県立自然体験学習施設『富士山麓山の村』の吊り橋下に到着。更に進んで突き当たりの斜面を登るとヤレヤレの緑陰広場です。

K・H（次号へつづく）



平成22年 開山祭

富士山お山開き

◆ 浅間大社

7月1日(木) 9時～10時30分

- ※大金剛杖パレード
- ※富士山まつり開幕宣言(富士宮市長)
- ※一番バス、登山者安全祈願
- ※山岳救助隊夏山救助開始式
- ※湧水献上
- ※開山式典
- ※英国大使館と大宮小児童の交流会

◆ 村山浅間神社

7月1日(木) 11時～12時30分

- ※富士山入山式～お山開き式(村山登山道)
- ※正式参拝
- ※禊ぎ神事～北中生徒による禊ぎ行事
- ※護摩焚き神事
- ※日英親善交流会(12時30分～14時)

◆ 富士山表富士宮口五合目

7月1日(木) 15時

- ※富士山お山開き宣言(富士宮市長)
- ※オールコック碑献花

◆ 浅間大社

7月1日(木) 17時～21時

- ※開山フェスティバル
- ※第22回「ミス富士山」コンテスト
- ※富士開山奉納手筒花火

◆ 芝川梅祭り・芝川おどり

6月20日(日) 10時～

場所:新稲子川温泉・ユートリオ

お問い合わせ先

富士山まつり推進委員会
(社)富士宮市観光協会 tel.0544-27-5240

灯りの大ページェント

“表富士燈回廊”

日時 6月26日(土) 夕刻～21時00分
場所 浅間大社周辺

町は素敵な美術館

“まちなかアートギャラリー”

期間 7月1日(木)～7月6日(火)
場所 市内商店街の各店舗

■お問い合わせ・応募先■
富士宮商工会議所 0544-26-3101

第22回

Miss Fujisan 2010

ミス富士山コンテスト

1年間「富士宮市の顔」として
「富士山の観光大使」として
多方面でご活躍いただく
「明るく健康的で、明朗な女性」
を選出します!

出場者募集!

最終選考会: 7月1日(木) 18:30より
場所: 富士山本宮浅間大社 祈禱殿前
応募締切: 6月9日(水)

※詳細は下記へお問い合わせください。

■お問い合わせ先
(社)富士宮市観光協会ミス富士山コンテスト係
tel. 0544-27-5240

社団法人 富士宮市観光協会総会

5月18日第10回、社団法人富士宮市観光協会の通常総会が、クリスタルホール パテオンで開催された。宮崎会長は、協会は合併により観光資源豊富な芝川エリアを加えての観光事業を今年度から実施する。静岡空港の就航に伴い国内は勿論中国、韓国など観光富士宮のPRと誘客を行い、富士山の世界遺産登録に向けて取り組み、富士山観光をより魅力ある観光として発展させてゆきたい、なお今年度は公益法人への移行も準備中である。と熱い挨拶をされた。この後、小室富士宮市長を初め、県観光計画課長、その他大勢の来賓の祝福の言葉を頂き、富士宮観光の明日を予感させる総会は無事に終わった。

K・W

この人 鈴木清貴さん （株）岳陽新聞社社長



大変お忙しい中、にこにこした顔で心よくインタビューに応じて下さいました。

鈴木さんは山形県のご出身で、大学卒業後東京の出版社にお勤めをしていましたが縁あって現在の岳陽新聞社に入社、早20年経つという。現在は社長です。

鈴木さんの毎日書かれている岳陽新聞の「ふじおろし」という記事に驚く。これだけの記事を毎日欠かす事無く、季節や毎日の出来事・政治・経済等々すべての分野をバランスを考えながら執筆するという事は並大抵のことではない。

鈴木さんは、まず沢山の本を読み・すべての分野に精通し・どこにどんな資料があるかを頭に入れていくという、すばらしい頭の持ち主である。家に帰ってから書くことが多い様ですが、毎日の睡眠時間は5時間程度らしい。ストレスのはげ口はお酒とも言っていた。

常に心がけていることは、人との出会いを大切

にし人々とのネットワーク作りを心がけておりその中から学ぶことが沢山ある、と力説されていた。趣味をお聞きしたところ即座に仕事と帰ってきた。テニスのインストラクターまで持っているが、この頃はなかなか暇が無くテニスもやっていないとの事でした。

最後に富士宮市の観光について伺いました。富士宮市は富士山のような立派な観光資源があるのでなかなか新しい考えが浮かばないのでは？何にも無かったとしたらという発想で考えてみたらどうだろうか。また、観光地を点から線に、あるいは面として考えたらどうだろうか、なお、この綺麗な水を資源化することも必要ではないだろうか、等々沢山の示唆を熱っぽく話して下さいました。鈴木社長の元気を貰って我々も頑張らなくてはと思いました。 H・S

入梅のこと

今年の暦の上での入梅は6月11日。雑節の(二十四節気以外)の一つで、実際の気象上の入梅は年と所によって異なる。が平均的に南ほど早く、沖縄では5月上旬、九州では6月上旬、東京では6月中旬、北海道には梅雨は無いといわれている。原因は北方にオホーツク海高気圧、南方に小笠原高気圧があり、この両高気圧の間を小さな低気圧が近付いて雨を降らせ、断続的な梅雨現象を起こすことになる。昔から6月11日を過ぎると梅の収穫が始まる。私たちは小さい頃から入梅を過ぎないと梅の実を食べてはいけない、疫痢になると親から教えられたものである。 H・S

第15回 日本ジャンボリー ～世界に向かってでっかく羽ばたけ!～

日時：8月2日(月)～8月8日(日)
会場：朝霧高原アリーナ他

〈お問合せ〉

- (財) ボーイスカウト日本連盟
TEL 0422-31-5168
<http://www.15nj.org/>
- 富士宮市ジャンボリー準備室
TEL 0544-22-1114

◆ 富士宮市観光ガイドボランティアの会 総会終る ◆

富士宮市観光ガイドボランティアの会の第10回総会が、5月22日福祉会館で開かれた。宮崎観光協会会長他多数の来賓の挨拶の後、議案にうつり前年度の活動報告、決算報告に続き今年度の活動予定、予算が承認された。次に役員改選が行われ新会長に大澤能孝氏が、前会長の渡辺京子氏は相談役に決まった。その他役員3名の改選が行われた。特に、本年度の活動計画では富士山五合目での登山客に対する案内と旧芝川町関連のガイドが拡充され、益々活動の場が多くなり、全員協力の体勢と結束が約束された。 H・S